

ATC施設利用・共同開発研究申請書 (☐ 新規 ☒ 継続 ☐ 変更)

国立天文台先端技術センター センター長 殿

2020年2月29日

下記のとおり施設利用を申請します。 (Excel で提出してください)

2020-023

① 代表者氏名：江澤 元			
② 所属機関/部局：国立天文台 / アルマ			
③ 職名 又は 学年：助教		④ 連絡先 (詳細ページへ記入してください)	
⑤ 研究課題名：テラヘルツ光子検出器の開発			
⑥ 研究課題および施設利用の目的 URL (省略可): http://			
テラヘルツ帯に感度を持つ高速の光子検出器を開発する。検出素子には産業技術総合研究所と共同で開発している低リーク電流の超伝導SIS検出器を用い、極低温回路も用いた高速読み出しを実現することを目指す。光子統計を用いた新しい観測手法を開拓や高感度のテラヘルツ干渉計への応用が期待される。			
⑦ 希望利用期間：2020年4月1日 ~ 2021年3月31日		(継続使用の場合は、一年毎の更新が必要)	
先端技術センターの関連職員の氏名を記入。(該当者がいない場合は記入不要) 松尾宏			
利用設備の申請：使用する項目にチェック(☒)を入れてください。			
☒ メカニカル エンジニアリングショップ 業務依頼の内容を具体的に裏面に記入してください。	☐ 設計	☒ 実験スペース	__ × __ m ²
	☒ 工作依頼	☒ 電源の使用	100V, __A, __口 200V, __A, __口
	☐ 測定・評価	☒ クレーンの利用	天井クレーン 1t
	☐ 超精密	☐ 特定化学物質	この欄に物質名を記入して下さい。
☒ オプティカルショップ	測定器の予約はWebを利用して下さい。		
☐ スペースチャンバーショップ 裏面に作業内容を記入してください。	☐ 大型スペースチャンバ	☒ 有機溶剤	エタノール、アセトン
	☐ 中型真空チャンバ	☒ 高圧ガス	別途届出用紙に記入して提出。
☐ 特殊蒸着・ 超微細加工ユニット 裏面に依頼内容を記載してください。	☐ 大型真空チャンバ	☒ 液体窒素 100 ℓ/月	☒ 乾燥窒素
	☐ 小型真空チャンバ	☒ 液体ヘリウム 10 ℓ/月	ここに推定月使用料を記入して下さい。
☐ その他 (磁気シールドルーム、ワイヤーボンダー、リークディテクター、THz-TDS)	☐ 特殊蒸着	☒ 真空ポンプ	☒ 冷却水の利用
	☐ 微細加工	設備管理ユニットに予め相談必要 ☐ エレクトロニクス測定機器利用	☒ サブミリ波FTS
裏面に測定機器を記入して下さい。			
安全衛生講習： ☐ 希望する / ☒ 希望しない 保険加入の有無(学生のみ)： ☐ 有 / ☐ 無			

申請事項に変更が生じた場合は、速やかに変更申請書を作成し提出願います。

送付先(先端技術センター事務)：atc-office@atc.mtk.nao.ac.jp